

奈良高専 図書館だより

記 事

1. 生涯学習の基礎を
2. 卒業生からのメッセージ
3. 読書感想文コンクールについて
4. 心に残る一冊の本
5. 国際交流
—読書週間行事より—
6. 図書館統計等

1991年7月 奈良工業高等専門学校図書館 発行



生涯読書の基礎を

図書館長 田中富士男

高校、大学生の本離れが進んでいるといえます。また日米の学生の読書傾向の比較調査によると、アメリカの学生は漫画にほとんど興味を示さないのに、日本では約30%の高校生が週3時間以上漫画をみるそうです。奈良高専ではどうでしょうか。

電車の中で、立派な服装のビジネスマンらしい人が、革靴から漫画雑誌を取出して読みふけるのを、時々みかけます。本校の卒業生諸君にはあんなことはしてほしくないと考えます。

高専生の生活は、受験勉強も全体としてはしないのですから、5年間の在学中には読書に親んでほしいものです。高専卒業生は大学卒に比べて、一般教養に欠けるといわれています。これを色々な傾向の読書によって克服してほしいものです。

今年も、読書感想文のコンクールが行われますが、これなども、自分自身に本を読む習慣をつけるための一助にしてほしいと思います。

高専入学以来、一度も図書館へ来たことのない人もいますが、週に1度は図書館へ来て、自分に合った本をみつけて下さい。雑誌の表紙を一瞥するだけで、何が流行しているかが判ります。バラバラと目次を拾い読みするだけで、いま何が問題であり、だれがその分野の専門家であるかが判ります。そうして興味のもとでそのような分野の単行本をひもとくことによって、自分自身が一段と高められるのです。その中で繰り返し読むことのできる愛読書もみつけることもできるでしょう。

高専での生活の中で、ぜひ生涯読書の基礎をつくってほしいものです。

さあ、早速に図書館へ出かけてみましょう。

読書週間は10月27日から11月10日迄です。

この期間図書館では、留学生の祖国マレーシア、インドネシア、タイを中心とした国々の理解を深めると同時に、国際化社会における私達のあり方について学習していきたいと思っています。関連図書の展示、講演会、ビデオ鑑賞会等の行事を行う予定です。お楽しみに！

卒業生からのメッセージ

図書館って何？

機械工学科 村井康敏

皆さんは図書館に対してどのようなイメージをお持ちでしょうか？勉強部屋？資料室？暇潰し？もっと抽象的な印象として、堅苦しい場所？人それぞれの印象があると思います。でもそれは図書館に対する印象ではなく、図書、つまり本に対して皆さんが持っている印象ではないでしょうか？「本＝勉強」だとか「本＝堅苦しい」とか言った印象がそのまま図書館に反映してしまっているのではないのでしょうか？奈良高専の学生は確かに他の高校生に比べて図書館を利用する率は高いのではないかと思います。しかし、本を利用するのは、レポートを書くためという極めて限定された項目になっているのではないのでしょうか？そのためにそのような印象が出来上がっているのだと思います。そもそも本というのは何なのでしょう？（しかし、「？」が多い文になってしまってますね。）私はその本の著者が手にいれた、また発見した知識を多くの人と共有しようとするためのものだと思います。それは漫画や小説でも同じことで、一つの世界や多くの人間を作り出すことによって、著者自身が疑似的に体験したことを広く共有しようという意図のもとにあるのだと思います。そして、私達はその本を手にかけることによって知識を発見し、自分以外の誰かの人生を感じることができるのです。つまり図書館は世界中のあらゆる人々の人生をかき集めたところだと言えるでしょう。確かに他人が感じたことをそのまま感じ取ることは難しいでしょうし、自分が感じたことをそのまま伝えることも難しいでしょう。そう言ったことを考えながら本を読む必要はないとおもいますが、本を読むというのはそういうことだと思います。始めのほうで言った「暇潰し」的図書館の利用法も、良い図書館の利用法だと思います。自分という人間の空き時間に、自分以外の人間を体験する。そうやって、何人もの人間の経験を積み重ねれば短い時間に何倍もの意味を与えることができると思います。

そして、自分の体験や思いを他人と共有してみ

たい人はSF研にきて自分だけの話を作ってみませんか？最後にちゃっかり宣伝してしまいましたが、もっと気軽に本を読んでみて下さい。

図書館を10倍楽しく利用する方法

電気工学科 上東憲司

「卒業」という2文字が目の前に見えたとき、「やっと卒業か」という思いと「もう卒業か」という思いが複雑に絡み合った。

もちろん卒業する事自体は嬉しいけれど、まだやり残していることが多いので、「卒業」という2文字に何か引っかかるというか、後ろ髪を引かれているという感じがしているのです。

後ろ髪を引かれる原因、そのうちの一つは、私が所属していたクラブ（おもに文芸同好会）のことであり、もう一つは、「ここで書くとなんかヨイショといった感じがするが……」2年間にわたってカウンターで職員さんたちのお手伝いをしていた図書館のことであります。

今書いたように、私は約2年間にわたって昼休みにカウンターに座って図書館で図書の貸出業務の手伝いをやっていました（足をひっぱっていただけかも知れませんが……）が、さすがにそれだけ長い期間、カウンターから図書館を見ていると利用する学生たちの傾向が見えてきます。図書館を利用する学生の絶対数は増加の傾向にあるのですが、しかし、まだその人達は満足に図書館を利用しきれていないと思いました。

そこで、どうすればみんなが、もっと図書館を有効に且つ楽しく利用できるのか書き示してみたいと思います。（なんて長いプロローグ……）。

まず、今の図書館の現状ですが、今一番多い利用は何ととっても、各学科のレポートや卒業研究などに用いられる参考書及び教科書、辞典類の利用です。これは高学年を中心としたほぼ全校生が利用しているでしょう。まあ、この学校の図書館自体がそのために存在するといっても過言ではないのですから。

ですがその反面、小説などの文学関係の利用は極端に少なくなっているようです。実際はずっと見ている訳ではないのですが、昼休みにカウンター

から見ている限り、小説その他の並んでいる本棚の辺りはいつも人影がまばらで、その人影自体も大抵が常連といってもいいくらいで、それ以外の人はほとんどいないと言っても差し支えないようです。

そのような現実を見ると私は、「もっと色々な本を読んでくれ！」と叫びたくなります。色々な本を読むことで、きっと図書館を今までの10倍、いやもっと有効に楽しく利用できることでしょう。

その理由は、まず知識が広く得られるということです。勉強もそうですが、この時期に得た知識というものには永遠の財産であるからであり、その知識によって、自らの専攻分野を更に深く知ることができるものと思われるからです。

もう一つの理由は、自分をもう一度見つめなおすことができるということです。悩んでいる人にとっては無作為に一冊の本を読むことで、ひよっとしたら悩みが解決できるかもしれないし、自分を変えることができるかもしれません。ちなみに私は今、趣味で小説や詩を書いておりますが、これは私が3年の時に図書館で読んだ、新井素子先生の『あたしの中の……』を読んだのがきっかけとなっております。

更にもっと図書館を有効に楽しく利用するには、やはり図書委員会をうまく利用することでしょう。

図書委員会とは、図書館で新しい本やビデオ、LDを購入するときに買う本などを選定したり、図書館職員さんたちのお手伝いをしたりする委員会です。年に1~2回アンケートもとっています。

この委員は各クラスに一人はいるはずですから、その人に「この本入れて」と嘆願すると、いつしか図書館に入ることもあったりするわけです。確か、手塚治虫先生の『ブラックジャック』や『アドルフに告ぐ』をはじめとする漫画類は、こうした方法で入れたものだったと思います。

これらの、『図書館を10倍楽しく利用する方法』を最大限に実効に移すことで、みんながより楽しく図書館を利用でき、利用することによって新しい図書館への要望が増え、その結果更に図書館が便利に使いやすくなり、また利用者が増える。またその利用者が要望を……と、加速度的好循環とか、『風が吹けば桶屋がもうかる』的論理といたりするものが成立してしまったりするのです。

というわけですので、みんなももっともっと図書館を使ってやつて下さい。図書館はスルメのように使えば使うほど味が出てきて面白くなってい

ていくものです。そして、一人一人の力を合わせてみんなの図書館をもっと楽しく利用できるようにして行って下さい。

コミュニケーション情報の素材

化学工学科 辻本達哉

パーソナルコミュニケーションは会話や手紙を使ってできるので相互の伝達である。受け手から送り手へフィードバックが難しいのが大衆伝達であるマス・コミュニケーションで、その媒体がマス・メディアであるTV・新聞・書籍などがある。

以上は人間特有の高度なコミュニケーション能力であり、科学技術の発展による物質的満足、そして、人間性に由来する精神的安定性に寄与していると思う。

会話・手紙、そして、印刷・電波によるメディアの発達で情報の大量伝達が可能になった。書籍は古来からあるメディアであり、既に、奈良時代には「芸亭」という図書館が存在した。

一般に本屋は利潤を獲得するために書籍のジャンルに必然的に偏りが生じることになる。それに対し、現代の図書館は過去から現在に至る書籍の集積地としての機能も果たすと思う。そのため、数年前のベストセラーを見つけたりすることがあり、図書館は時間的な空間を感じることもある。また、むかし、中学の時に閉室していた図書室に入る機会があって、山積みしていた本から当時としては衝撃的な本を見つけ、みんなで慌てふためいたという記憶を思い出させる本があり、その頃の事をなつかしく感じた。(ちなみに、一応その本はお堅い本であることを明記しておこう。)この発見は、卒業間近になって図書館をじっくり探索してみた結果なのだが、時間の不可逆性を意識していても時期が時期だけに思いがけず過去のコミュニケーションの場になってしまった。このように、館内散歩をするだけで意外と図書館で自分にとって新しい発見ができるかもしれませんよ。

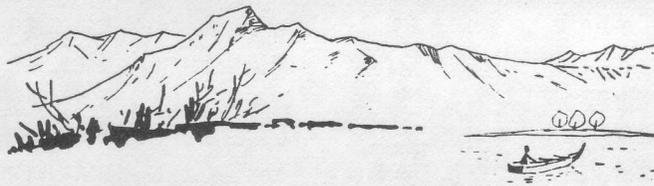
さて、ここで本の紹介をするべきであるが、私は毎週または毎月発売される「現在の本」を優先する傾向があったために先輩方が「卒業生からのメッセージ」によく書かれたように本の紹介はできないことを御了承願います。

ところで、皆さんは様々なコミュニケーション

をし、情報の送り手になったり、受け手になり情報の授受を行うのであるが時には、伝達される素材の中に虚偽純度100%の「噂」が先入観・外見イメージの加工工程を経て、偏見・誤解の副産物を伴い、推量の意味を含む「噂」がいつのまにか断定され、間違った固定観念が形成されることをしばしば経験されたことだろう。これは共同体の中では、fase to faseによって成員に瞬く間に伝達され、かつ、発信源が不明で責任の所在が明確でないことが多い。このようなfase to faseのパーソナルコミュニケーションは人間の孤立感を癒すどころか、人間疎外を生み出すことにもなりうる。コミュニケーションの難しさを感じることもあると思うが特に人の情報については高度の配慮を持って対処するべきであると思う。

私たちはコミュニケーションする時に必要な様々な情報をストックしている。情報の取捨選択も必要だが、図書館を情報収集の場とするなり、図書館の新しい利用の仕方を考えるなり、多機能な活用をするのも良いのではないのでしょうか。

最後になりましたが、この場をお借りしまして、お世話になった高専の皆様へ厚く御礼申し上げます。



図書館委員会・学生図書委員会 活動スタート!

図書館委員会		
館長 田中(月)		
図書部会	視聴覚部会	研究紀要部会
○井口 (木)	○溝端 (金)	○京兼 (月)
西田 (火)	森 (水)	溝端 (金)
土井 (木)	西田 (火)	森 (水)
植村 (金)	土井 (木)	植村 (金)
小澤 (水)	小澤 (水)	井口 (木)
○は部会長 ()の中は担当曜日		

寄贈図書リスト

(書名)	(寄贈者名)
○原色日本の美術 (全30巻)	
○原色世界の美術 (全30巻)	本校名誉教授三木芳男氏
○現代日本の美術 (全18巻)	
○松下幸之助発言集	松下電器産業KK
○求人広告半世紀	日本リクルートKK
○小説 日本興業銀行1~5 高杉 良 著	日本興業銀行
○三菱商事 (まんが) さいとうたかを著	科学技術教育協会
○ある日の藤城さん親子一原子 炉の暴走は防げるか(ビデオ)	電気事業連合会
○聖書全体は神の靈感を受けた もので有益です	ものみの塔聖書冊子教会
○さんすいーいま日本のエネルギーを考えるIIー 石井威望編	電気事業連合会
○自由ベルリン賛歌	三修社

学生図書委員会メンバー

学年	クラス	M A	MB・S	E	I	C
1		谷口充孝	植田豊啓	細矢尚之	山本 豊	小菅晓性
2		居谷多恵子	中井亜子	三上信哉	芳川高広	上村秀之
3		藤本周作	永里智宏 長久勝晶	山口順一	矢野 暢	清水 肇
4		◎田口努	○楠欣宏	鈴木孝臣	伊藤香代	川西雅子
5		中川喜照	宮本圭介	高尾征志	山口 輝	松田実喜子

◎委員長 ○副委員長

平成3年度 読書感想文コンクールについて

今年も、夏休み恒例の読書感想文コンクールを、図書館委員会と国語科の共催で行います。先生方から推せんされた図書は、すべて参考図書としてリストに挙げました。1、2年生の選択の目安として☆印をつけましたが、いずれの学年も他から自由に選んでよいことになっています。

図書館カウンターに並べておきますので、よく考えて選んで下さい。

リ ス ト

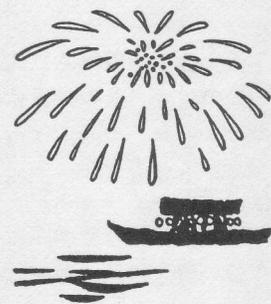
<文学作品の部>

☆四万十川	笹山久三河出
☆ウツホホ探検隊	千刈あがた福武
☆夕鶴(彦市ばなし)	木下順二新潮
☆遠き落日(上・下)	渡辺淳一集英社
☆静かなノモンハン	伊藤桂一講談社
草のかんむり	伊井直行〃
鞆に本だけつめこんで	群ようこ新潮
冴子の東京ものがたり	氷室冴子集英社
ジュリア	リリアン・ヘルマン早川
五重塔	幸田露伴岩波
夜叉ヶ池・天守物語	泉鏡花〃
夢十夜・硝子の中	夏目漱石〃
変身	カフカ〃
暗夜行路	志賀直哉新潮
家(上・下)	島崎藤村〃

<文学作品以外の部>

☆北の逃亡者—中国人 強制労働の悲劇	たかしよいち	理論社
☆ごく普通の在日韓国人	姜信子	朝日
☆淋しいアメリカ人	桐島洋子	文春
☆パソコン入門	石田晴久	岩波
☆青春とはなにか	真継伸彦	〃
開け心が窓ならば	黒田清他	角川
湖の伝説	梅原猛	新潮
ゴッホの手紙	小林秀雄	角川
解体新書	杉田玄白	岩波
図解 豊かさの栄養学	丸元淑生・康生	新潮
図解 豊かさの栄養学	〃 〃	〃
めざすは新世代コンピュータ	上前淳一郎	角川
現代を見る歴史	堺屋太一	新潮
国語入試問題必勝法	清水義範	講談社
ベトナム戦記	開高健	朝日
オーストラリア6000日	杉本良夫	岩波
日本による朝鮮支配の40年	姜在彦	朝日カルチャー
黄河の水	貝塚茂樹	角川
人生論ノート	三木清	新潮

???? 質問・相談・なんでもコーナー !!!!!!!!!!!!!!!
 ①図書館にあることは分かって、いざ本を
 探すところにもない。見つけるコツはあるの
 でしょうか?
 ②本がないのは、①誰かが借りている②ある
 べき場所に本が置かれていないので見つから
 ない。③教官研究費購入本である、等の理由
 が考えられます。係でも配列など皆さんに分
 りやすく努力はしているのですが…。やはり
 一番のコツは、よく図書館を利用して図書
 館を熟知するという一言に尽きるのではない
 でしょうか?
 ?????????????????????!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!



心に残る一冊の本 —あなたにも薦めたい— (その1)

情報の氾濫が、ますます私たちの思考力を低下させているような気がします。年間4万冊ともいわれる出版物。その量の多さが、かえって私たちを“読書の楽しみ”から遠ざけているのではないのでしょうか。

どうすれば、自分で考え、自分の視点でものを見、選ぶことの出来る人間になれるのでしょうか。何を読むべきか…と立ち止ったままの人だっていると思います。そんな人は、まずこの一冊の本を最後まで読み通すことで、初めの一步としましょう。

薦められた一冊の本が、“素晴らしい出会い”となることを願って、図書委員の先生方に心に残る『一冊の本』を選んで頂きました。

「やり直し英語」成功法

守 誠 (著) 講談社

◇ 著者によれば、円高が最近の「英語フィーバー」を生んだと言う。大企業はもちろんのこと、中小・零細企業でさえも海外でモノを作り、それを日本に

持ってこないと採算があわない。今、海外で活躍中の日系企業数は約1万6千社。あらゆる企業が英語を求め、ビジネスマンは落ちこぼれないため、こぞって英語の学習に走っているとのこと。これはビジネスマンに限った話ではない。将来エンジニアを目指す高専の諸君にも当てはまると言ってよい。著者が言うように、英語が土足で日本のあらゆる職場に入り込んできた以上、何が何でも英語を物にせにやならんと言うことになる。彼の示す英語上達法は明快である。

- (1) 焦らずに、「中学英語」で基礎作り
- (2) 覚えよう、少し多めの英単語
- (3) リスニング、もっと増やそう、恥かこう

中でも、(1)の中学校の教科書の中からの引用による解説は、具体的かつ説得力がある。

(一般教科 溝端清一)

『星の王子様』

サン・デグ・ジュペリ (著) 岩波書店

◇ 私はこれまで人並には本を読んできたつもりです。しかし、非常に忘れっぽい性格なもので、読んだときの感動を心にとどめておくことが出来ないのです。

『星の王子さま』は別で、絵がたくさんあったからか、もう25年以上も前に読んだ本なのになぜか心に残っています。

この本はおとなにとっては頭の痛い本です。「おとなは、だれも、はじめは子どもだった。しかし、そのことを忘れずにいるおとなは、いくらもない。」と、作者は言います。まさにその通りです。我々おとなが、子どもに説教をするとき、この言葉を思い出せば、もう少し子どもとのコミュニケーションがうまくいくのではないのでしょうか。また、きつねが王子様に名言を贈ります、「かんじんなことは、目に見えないんだよ」。豊かな心を持つことの大切さを教えてくれる本です。(機械工学科 森 教安)

悪 名

今 東光 (著) 新潮社

◇ この本に出会ったきっかけは、高校生のときテレビで大映の「悪名シリーズ」(勝・田宮 主演)をみたことによります。大学に入学した時にこの本を

買いました。社会人になってからは、ビデオを集めた次第です。

今日、「金・金・金」が賛美され人道が軽視される傾向が蔓延しているなかで、「弱きを助け、強きをくじく」主人公の生きざまに非常に感銘を受けました。時代おくれの作品かもしれませんが、日本人気質というものをこのシリーズで学んだような気がします。

また、「力をもって、力をかえす。」こと、これが男の本質であることを教えてくれた本でもあります。この意味は、「とかく『コネ』と言う言葉をよく耳にしますが、頼れるのは自分だけという強い意思をもって、問題に取り組む姿勢が重要であり、力を蓄えることによって仲間の形成や目指すものに到達できるという強い信念に基づいて行動することである。」と私は解釈しています。

(情報工学科 植村 芳樹)

国際化社会を迎えて

国際交流を深めよう！ —'91読書週間のテーマより—

私たちを取りまく内外の情勢は、この十年著しく変化しています。政治問題、経済問題、環境問題等どれをとっても、世界的な視野で論じなければならない時代を迎えています。

同時に、企業の外国への進出、海外旅行の増加等で、外国は今までになく身近なものとなりました。それゆえ、学者やジャーナリストの論を待つまでもなく、国際交流の機会はますます増え、私たち現代人の大きな課題となりつつあります。

しかしながら現実には、一步踏み込んだ諸外国との相互理解ということになれば、まだまだというのが事実ではないでしょうか。

留学生を7名も迎えているわが奈良高専でも、これらの問題をもっと身近なこととして理解を深めるため、今年の読書週間のテーマを“国際交流”とすることにしました。

たびたび国際協力事業団(JICA)専門家として、インドネシア・スラバヤ・ポリテクニクに赴任され、又外国の事情にも詳しい電気工学科京兼先生に国際協力についてと題して書いて頂きました。

読書週間期間中には、関連図書の展示、講演会、ビデオ鑑賞会などを同時に行う予定です。

国際協力について

電気工学科 京 兼 純

国際化が宣伝されて久しい我国にあって、国際協力という仕事でインドネシアに赴任し、帰国して一年が過ぎ去った。この間、教えたまた教えられた事項は、移り行く季節感を持つ日知りの民と、雨期と乾期の差はあるものの、大きく変動しない状況の人々との接点を見出すことが、いかに難しいかということであった。先進工業国が持っている常識が、ややもすれば虚構の上に成り立っているのではないか、というような錯覚に囚われることもしばしばあった。人間の幸せとは一体何なのであろうかと、『フッ』と考えさせられたこともあった。

自然科学は、民俗と風土によって醸し出す文化とは無関係に、常に普遍かつ共有性を持ち、根づいていくものと一般に常識として捉えられているが、ここにきて若干怪しくなりもした。日本のような高度に発展し、成熟した工業社会のこうした文化を移転することが、果たしてこれまでの常識の範囲で対応できるものなのか、さらには技術移転そのものが可能なかどうか、あるいはこうした類のものは、時間の流れに委ねられ自然に解決されるのを待つしかないのであろうか…と、身を持って勉強させられたというのが正直なところである。

しかしながら、ユニセフ・ユネスコ・世界銀行等の国際機関の調査(JICA資料より抜粋)によれば、読み書きや基本計算のいわゆる識字教育の機会を持たない人は以下のようにになっている。

- * 1億人の子供たちが教育の場を持たない、
- * 成人の人口の9億人が読み書きや基本計算が出来ない、
- * しかも現在のペースでは成人の非識字者の数が増加する。

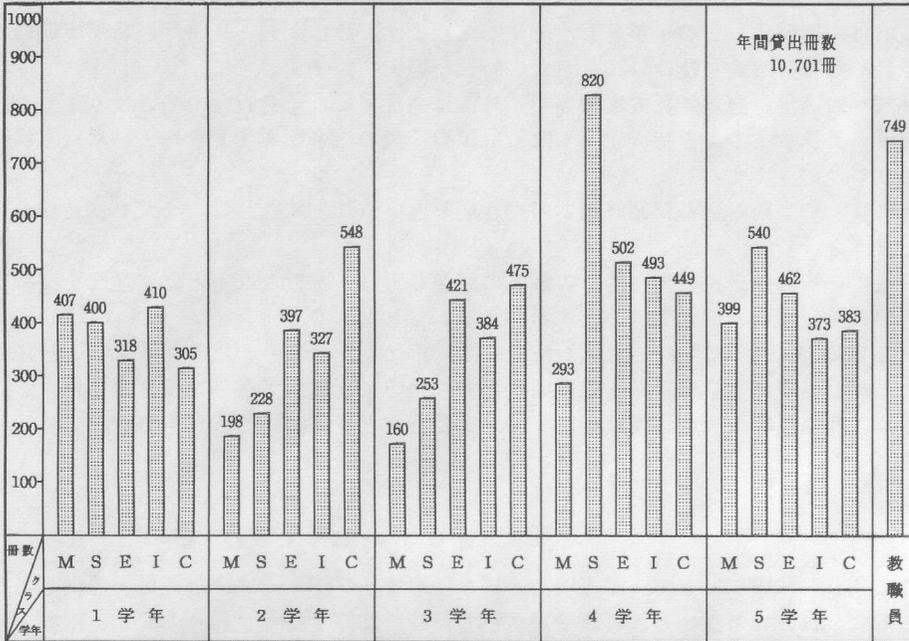
このような状況下では、私達が持つ文明を共有し、語り継ぐことさえも不可能に近くなるのも事実である。勿論、人の満足感や価値観は物質文明だけで計測できるものではないが、多くの途上国で抱えている貧困・飢餓・健康問題・慢性栄養不良・幼児の死亡率増大などを改善する最良の道として、識字教育や基礎教育が必要であるのは言を待つまでもない。

今後の世界情勢は杳として定かではないが、先進国に生を授けられた者の一人として、枝葉末節の問題を内在させつつも、世界の地域格差の解消が我々に課せられたテーマであると受け止めているし、そうありたいと願っている。

※ 読書週間は10月27日～11月10日迄です(ご意見等、お寄せ下さい。)

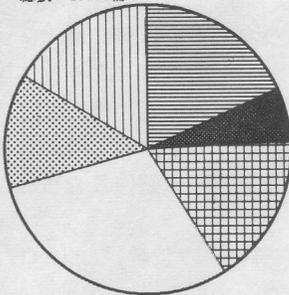
平成 2 年度 図書館利用統計

〔クラス別統計表〕

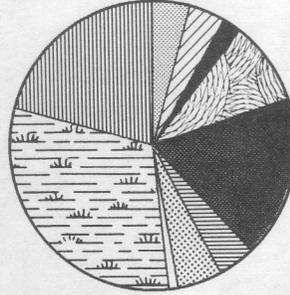


昨年度の年間貸出冊数は、10,701冊でした。一昨年は11,100冊で、全国60高専の中で8番目という好成绩でした。各校の条件があり、一概に比較はできませんが、本校の皆さんは、活字離れの世代と言われながらも比較的よく読書をする（レポートのためかも）部類に入りそうです。

学年別統計表
総数：10701冊



分類番号別統計表
総数：10701冊



分類別蔵書冊数 (1991. 4. 1)

種別	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	芸術体育	語学	文学	文庫新書	合計
和書	3,124	2,309	4,853	2,889	11,617	16,021	233	3,141	3,040	8,589	4,169	59,985
洋書	398	266	84	102	2,080	1,589	1	100	1,270	1,507	0	7,397
合計	3,522	2,575	4,937	2,991	13,697	17,610	234	3,241	4,310	10,096	4,169	67,382

編集後記

◎今回は、活字から遠ざかりがちな皆さんに一冊でも多くの本を読んでもらうという方針を打ち出して編集しました。いかがでしたでしょうか。
◎希望図書を購入していますが、“言いつばなし”になってはいませんか。折角希望がかなったのですから是非読んで下さい。